技術審査項目

【次期教育情報システム詳細設計・開発・運用保守業務委託】

No.	提案項目	審査の観点	配点
1	【実績】 (1)入札参加者の実績に関する提案 入札参加者が有する校務支援システム等の設計や構築実績について説明すること	・本業務を受託する企業として十分な実績を有しているか ・ゼロトラストやクラウドベースシステムの設計、導入実績を有しているか	60
2	【体制】 (2)プロジェクト体制や要員の資格・実績に関する提案 本業務の実施体制や要員が有する資格・実績について説明すること	・プロジェクトを主導する者の資格や実績、能力は適切か ・プロジェクトを主導する者の受け答えや提案の姿勢は、本業務を担う者として適切か ・要員の役割分担が明確になっており、かつ適切か ・十分な業務経験や技能水準、資格を有するメンバーが参画しているか	100
3	【PM手法・能力】 (3)プロジェクト遂行に関する提案 プロジェクト管理の手法（工程管理、品質管理、課題管理、リスク管理 等）について説明すること コミュニケーション（ヒアリング）、柔軟性（変更管理）の能力・主体的・能動的な実行について説明すること	・プロジェクト管理の方法論を保有しており、それに基づいた具体的方法が示されているか ・本プロジェクトのリスクを抽出し、その方策について具体的な提案が示されているか	40
4	【全体構成】 (4)次期システムに関する提案 次期システム全体構成について説明すること 現行のシステムからどのように変化させて、実現するののか具体的な考え、実現手順・方策等を記述すること。 なお、構築した場合のライフサイクルコストを含めた構築費（インシヤル）・運用保守費（ランニング5年）の見積書を提出すること。	・全体構成は佐賀県が示す次期システムのコンセプトを反映したものであるか ・全体構成は文部科学省「次世代の校務デジタル化」を反映したものであるか ・教職員の働き方・子どもの学びの変化が見える提案になっているか ・現状の課題に対する的確な解決方法の提案となっているか ・現行からの変更点が整理されており、適切な内容であるか ・金額の内訳が妥当な内容となっているか	60
5	【機能要件①】 インフラシステム (5)次期システムに関する提案 ①次期システムの機能要件に関する提案（インフラシステム） インフラシステム（制御・認証・認可等に関する基盤等）について具体的な考え、実装方法を提案すること。	・ゼロトラストが実現可能なインフラ構成となっているか ・クラウドの認証基盤を活用する構成となっているか ・教員や生徒、保護者、県教委、市町（教委・学校）からの接続について実現方法が網羅的に考慮されているか ・パブリッククラウドについてはライセンス、オートスケール、リージョン間通信等の考え方が効率的かつ経済的な実装方法やコスト積算で提案されているか	80
6	【機能要件②】 ネットワーク (5)次期システムに関する提案 ①次期システムの機能要件に関する提案（ネットワーク） ネットワーク（県立学校の環境、回線）について具体的な考え、実装方法を提案すること。	・クラウドを前提とした校務や学習等に支障のないネットワーク機器やインターネット回線が選定されているか（アセスメントの結果を活かしているか） ・文部科学省が示す「当面の推奨帯域」を満たす回線性能であるか ・10Gbps回線が導入できる学校は、10Gbps回線が提案されているか ・複線化については振り分け機能の実装が想定され、目付異なるキャリア・ルート（エリア局、変電所）、衛星通信等の分散提案となっているか ・ネットワーク改善後の効果検証と報告が適切な時期と内容で予定されているか	60
7	【機能要件③】 アプリケーション (5)次期システムに関する提案 ①次期システムの機能要件に関する提案（アプリケーション） 校務（ダッシュボードを含む）・事務系・学習系・公開系などのアプリケーションについて具体的な考え、実装方法を提案すること。	・校務アプリについての画面設計シナリオ・カスタマイズ調整などが想定されているか ・アプリの実現性にむけた県との調整が想定されているか ・ユーザにより沿ったアプリケーションの開発・設定が提案されているか ・ダッシュボードの実装方法は適切か ・教員や生徒、保護者、県教委、市町（教委・学校）からの接続に対しセキュリティ対策が十分に考慮されているか	80
8	【機能要件④】 端末 (5)次期システムに関する提案 ①次期システムの機能要件に関する提案（校務系・学習系端末等） 校務系・学習系端末（その他関係端末を含むICT機器）の1台化統合や次期システムに向けた設定について具体的な考え、実現方法、設定変更方法を提案すること。	・校務系・学習系の1台化について適切な統合が想定されているか ・対象となる端末に対し、実現方法が全て意識されているか ・ユーザ（教育委（市町含む）・教職員・生徒）の効果的な利用を目指した端末のキッティング・設定変更が提案されているか	40
9	【非機能要件】 (5)次期システムに関する提案 ②次期システムの非機能要件に関する提案（非機能要件） 信頼性、セキュリティ、可用性、拡張性のそれぞれについて、どのように担保するのかについて具体的に記述すること。現在実現している非機能要件に対し、どのように変化・向上させて次期システムを実現するののか具体的な考え、実現手順・方策等を記述すること。	・非機能要件について、実現方法が具体的に記述されており、内容が適切であるか ・現行システムからの変更・向上点が整理されているか ・国のガイドラインや県のセキュリティポリシーを意識して提案がされているか ・利用者（県・市町教委含む）の各接続に対し、適切なセキュリティの確保及び非機能要件の実現に向けた対応が想定されているか	60
10	【サービスレベル、運用保守、ヘルプデスク】 (5)次期システムに関する提案 ③次期システムのサービス要件に関する提案（校内LAN運用保守及びヘルプデスク） 校内LAN運用保守及びヘルプデスクについて具体的な考え（サービスレベルを含む）、実施体制について提案すること。	・運用保守のサービスレベル（SLOではなくSLA）の考えは適切か、また下回った場合の対応を含めて提案されているか ・県立学校（約48拠点）の校内LAN運用保守を実施するに当たり十分な体制となっているか ・アプリケーションの問合せに対し、利用者毎（県教委・市町教委・学校・教職員・生徒・保護者等）に適切なヘルプデスクの対応ができるよう想定しているか ・ヘルプデスクは主の利用者（教職員約9,000名（県・市町教職員））の問合せに対応できる体制であるか	60
11	【工程】 (6)委託業務の各工程に関する提案 ①各工程に関する提案（作業内容、スケジュール） 次期システムの設計、構築の工程において、どのようなスケジュールで実現するののか具体的な考えを記述すること。	・分野ごとに構成され、実現可能なスケジュールの提案となっているか ・各工程、学校行事（入試・長期休業）、県教委行事（議会）等に関するマイルストーン・イベントを意識し適切なスケジュールを提案しているか ・ヒアリングやテスト（修正含む）・移行・試行などの期間が加味されているか ・運用期間終了後の撤去が想定されているか	60
12	【工程の工夫】 (6)委託業務の各工程に関する提案 ②各工程に関する提案（取組手法・実施方法等） 各工程を主体的かつ効率的・効果的に実施していくための詳細な取組手法、実施方法、体制等を提案すること。特に、システムの詳細設計、動作試験、移行、操作研修、セキュリティポリシーの改訂等はステークホルダが多いため、実現性を考慮して、効率的な実施に向けて具体的な考えや工夫を記述すること。	・ステークホルダー（県・市町教委・学校・職員）との主体的な調整が意識されているか ・設計、試験について効率的・効果的な取組手法、実現方法、体制が提案されているか ・過渡期、移行過程等、移行について適切な移行方法が記述されているか ・システムの操作習得に十分な研修や教材が計画されているか ・研修を実施する体制や手段は適切か ・セキュリティポリシーの改訂に向けて事業者が主体的に提案する内容になっているか	80
13	【県内貢献度】 (7)県内IT産業への貢献に関する提案 県内のIT技術や情報産業への具体的な貢献内容及び実現方法を提案すること。	・県内における情報産業の活性化やIT人材の増加に資する内容となっているか	20
			800